

平成 23 年度 第 2 回 杉並区自立支援協議会
相談支援部会 第 2 回、第 3 回活動報告

1. 23 年度の活動について

今年度は事例報告を中心に 5 回活動を予定し、杉並区委託（直営含む）相談支援事業所連絡会（月 1 回、区障害者生活支援課主催）と活動（関係機関との交流、福祉事務所・保健センター 施設見学、こども発達支援センター・こども家庭支援センターなど）を分けながらも、リンクし、支援課題を発見・改善していく。

2. 活動報告（予定含む）

	日 時	内 容	WG の活動
	6 月 3 日（金） 9:30～12:00	今年度の活動内容決定 活動グループ分け（A・B・C）	
	8 月 5 日（金） 9:30～12:00	（テーマ）学齢児を育てている家族への支援 （内容）事例報告と意見交換 済美養護学校と支援センターすだちの連携 （小 6 個別支援会議の必要性）と特別支援学校のコーディネータの役割 すぎコの小～高等部までの支援事例	A グループ 6/24 13:30～15:30
	10 月 14 日（金） 9:30～12:00	（テーマ）地域の障害者虐待予防システムを考える～こども家庭支援センター・ケア 24 との連携事例から～（内容）児童・高齢の杉並の虐待システム、障害者虐待について（福祉士会資料よりほか）事例報告と意見交換 いたる相談室のケア 24 との連携事例と虐待防止委員会の取り組み事例 オブリガードのこども家庭支援センターとの連携事例	B グループ 8/25 10:00～12:00 9/13 10:30～12:00
	（予定） 1 月 13 日（金） 13:30～16:00 保健所地下 1 階	（予定）ケア 24 との交流会～事例を通して～ 制度の狭間（介護保険 要支援・要介護 生保）での支援、精神の方の支援	C グループ 10/26 10:00～12:00

3. 見えてきた課題について

学齢期児童・家族への支援課題と取り組み
<p>・スムーズな連携への課題</p> <p>節目節目の必要な情報提供と支援について、意見交換を行った。現在、相談支援事業所と特別支援学校との連携ができつつあるが、特別支援学級や手帳のない発達障害児を育てている家族への支援は、課題が多い。福祉のネットワークだけでなく、特別支援学校コーディネータから、特別支援教育研究会・区内コーディネータ会議との連携を望む声もあげられた。</p> <p>(支援例・予定含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小 1、小 6 の支援会議 (済美養護学校) ・保護者会での制度の勉強会 (福祉事務所・永福特別支援学校) ・夏休み時生徒と親による福祉事務所訪問 (各学校) ・済美養護学校保護者会説明会 (福祉事務所出席) ・個別支援会議開催 (学校内・学校外、相談支援事業所) ・学校の教員への情報提供 (マニュアル作り 福祉事務所)
地域における障害者虐待防止システムについて
<ul style="list-style-type: none"> ・幼児相談窓口 子ども家庭支援センター、児童相談所 要保護児童対策地域協議会 (関係機関) 児童虐待対策推進会議 訪問事業、見守り事業など アドバイザー制度 ・高齢者相談窓口 ケア 24、高齢者在宅支援課高齢者福祉係 高齢者虐待防止関係機関連絡会 スーパーバイザー制度 ・包括的な防止システム 障害者の虐待の防止は、養護者、施設職員等のサービス提供者、使用者の三者の虐待防止、養護者の支援などに関するもので、幅広い施策と取り組みが必要と思われる。 ・相談支援事業所としての取り組み 施行までは、支援事例を積み重ね、虐待についての知識を深め、事業所事体も人権を護り、オープン化していく。また、各施設 (特に GH) を見守っていきたい。 ・相談支援部会の今後の取り組み 虐待の事例と防止システムについて、今後も継続して取り組む。関係者との連携だけでなく、家族への適切な情報提供も必要と思われる。 ・地域の取り組み 対象年齢が広く、障害の理解も必要なため、関係者だけでなく、地域住民との協働による虐待防止ネットワークが必要と思われる。 ・自立支援協議会の役割について 虐待防止の機能を取り入れる? 新たに作る? 子ども家庭支援センターの要保護児童対策地域協議会のようなシステムを要望する声があがった。

(相談支援部会)